

の2、3階部分。児童保健院は、倉庫として活用しています。

Q 財産処分委員会についてお伺いします。

A 財政課長 市長の諮問を受けた普通財産の処分について、その価格や売り渡し先等が適当か、審議する機関です。

Q 各部署で使用していない場所が本当に必要か(仮称)財産検討委員会の導入についてお伺いします。

A 総務部長 適切な管理運営が行政改革の課題と認識します。

A 市長 将来にわたり、不要なものは早目に処分をすることが含め、総合計画の中で、結論を出す時期と思います。

Q 使用していない公共施設等の貸し出しをする場合の規則の必要性についてお伺いします。

A 総務部長 有効活用ができる際は、考える必要があると思います。

Q 職員数350人を目指すとあるが、市民の財産や財源を預かる

執行部の人材や職場の活性化について見解をお伺いします。

A 市長 小さな行政を

Q 本庁舎の整備事業との整合性をお聞きします。

A 総務部長 面積約1千200平米で将来を見据えて適正なる規模の範囲で、計画を具体化しようと考えています。

Q 県の新電子調達システム(クラウドサービス)について

A 総務省は、2010年度までに、利便効率、活力を実感できる電子自治体を目指しているが、システムの活用前後の節減効果についてお聞きします。

A 総務部長 クラウドシステムの導入により、ハードウェア、ソフトウェア等を自前で持たない事で維持管理費の低減につながる。県と共同

で購入した電子調達システムの例でみますと、平成23年4月から稼働予定で、5年間で1千481万2千円程度、比較すると24%程度低減できると見えています。

A 市長 新システムを導入した場合、メリットは多大と理解します。

Q 現在の利用状況をお伺いします。

A 総務部長 登録者数2千800人。乗合いタクシー、合計5千986人。基幹バスは10月の1千381人から、1月は1千518人と、徐々に増えています。

Q 乗り合いタクシーで隣のエリアのかかりつけの病院やさんぶの森元気館に行つて欲しいなど、基幹バスの拠点の増加等の要望についてお伺いします。

A 総務部長 利用者1人に要する移動時間が長くなるため、区域限定し、蓮沼、松尾地域で2台、成東地域で4台で運行している。台数が

増加すれば費用が高くなります。



基幹バス

A 市長 基幹バスも、8の字でループを描くのが望ましいのですが、バス、タクシーとの競合という面において一定の考え方で制限をさせていただいている。将来にわたつて持続可能なものとし、改善を図っていきます。

Q 教育行政について

A 教育長 国の1000%委託事業は、平成22年度で終了となります。よつて、平成23年度は、学校、家庭、地域の連携による教育支援活動促進

Q 市全体の光ファイバーの要望書は、目標件数4千件中、回収数が2千143件で53.6%です。目標件数で必ず光ケーブル網整備が行われるのかお伺いします。

A 総務部長 職員が責任と自覚の中で取り組んでいった輪が、全体のまちづくりへとつながると考えます。今後、信頼の中で組織の連携・連帯を図ります。

Q 教育力の活性化についてお伺いします。

A 教育長 現状と課題を市民みんなで共有する環境を造り、効果的手法、組織はどうあるべきか、できるところから進めていきます。また、新たに青少年育成市民会議の中学校区ごとの組織化・機能化は、有効な手法の1つと考えます。

Q 今後の取り組みについてお伺いします。

A 総務部長 山武市の意思を伝え、具体化へ向けてNTTに要望します。

Q 公共交通について

A 市長 巡回バスの台数と限られた予算の中で運行しております関係から、一定の御不便を理解いただきながら、運行している。課の調査によると、問題のバスは18時40分に到着する上り、19時1分に到着する下りの電車を待つて日向駅を

JR総武本線日向駅の時刻表と、山武市巡回バスの市民の利便性について伺う。

個人質問



本山 英子 議員

A 総務部長 要望すること、実現への道が近づきます。

Q 今後の取り組みについてお伺いします。

A 総務部長 山武市の意思を伝え、具体化へ向けてNTTに要望します。